

水源

いつまでも
良質な水道水を
送り届けます



豊平川水道水源水質保全事業の取組

札幌市の水道水源の約9割をまかなう豊平川は、河川水が浄水場へ流下する過程で、ヒ素やホウ素等を含む自然湧水や下水処理水の影響を恒常的に受けています。より良質な水を浄水場で取水できるようにするため、これらの水質悪化要因を河川から取り除くバイパスシステムの整備を進めてまいりました。令和8年3月より、通常時の水質保全のための運用を開始しました。

事業の目的

● 通常時の水質保全対策

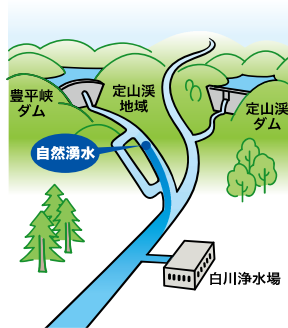
自然湧水に含まれる有害物質の影響を低減します。

● 事故・災害時における浄水処理継続

一時的に水の流れを切り替えてきれいな水を浄水場に取り込みます。

事業実施前

自然湧水を含んだ川の水を浄水処理しています。しかし、この自然湧水に含まれるヒ素、ホウ素などはできるだけ少なくする必要があります。

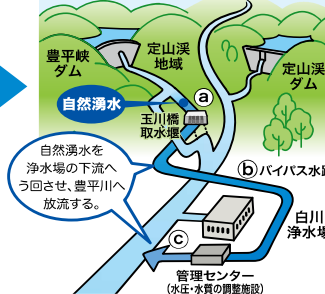


事業実施後

通常時の水の流れ

より安全で安心な水質を守る

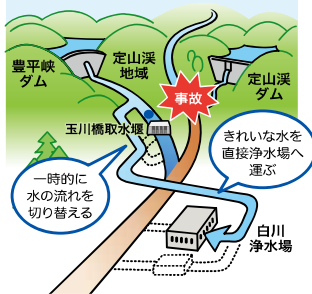
①地点から豊平川上流の自然湧水や下水処理水などを②のバイパス水路によりう回させ、浄水場取水地点より下流の③地点で豊平川に放流します。これにより、浄水場ではいつもきれいな水を確保することができます。



事故・災害時の水の流れ

水質汚染時にも良質な水源を確保する

事故・災害による水質汚染時には、豊平川上流のきれいな水をバイパス水路を通して直接浄水場まで運び、断水を回避します。



管理センター関連の工事が完了し、令和8年3月より通常時の水質保全のための運用を開始しました。令和8(2026)年度は、引き続き事故・災害時に浄水場へ水を運ぶための管路を整備する予定です。

令和8年度の工事箇所



● ③玉川橋取水堰

川の水をせき止め、バイパス水路に取り入れるための施設

● ⑥バイパス水路

取り入れた水を浄水場の取水地点より下流へう回させるための全長約10km、口径約2mの水路

● ③管理センター

豊平川へ放流する前に、バイパス水路によりう回させた水の水量・水質を調整する施設

水源

水源を
分散化します



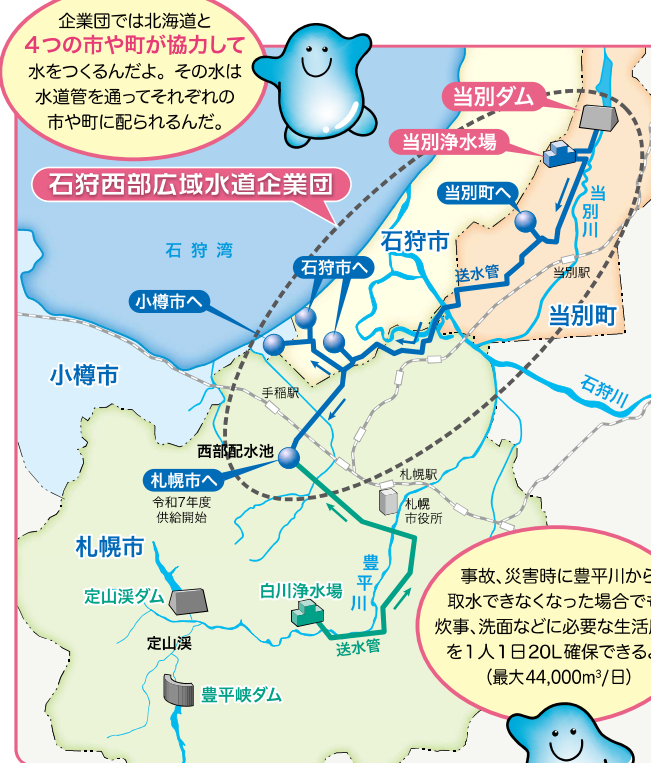
石狩西部広域水道企業団(当別ダム)への参画

札幌市は、豊平川に集中している現在の水源以外にも安定した水源を確保するため、北海道、小樽市、石狩市、当別町とともに、平成4(1992)年より石狩西部広域水道企業団に参画しています。

石狩西部広域水道企業団は、各構成団体への用水供給に必要な施設を整備し、平成25(2013)年度から、小樽市、石狩市、当別町へ、令和7(2025)年度から札幌市への供給を開始しました。

石狩西部広域水道企業団から受水することで、水源が分散配置されるとともに、西部配水池への送水ルートが二重化されました。

これにより、事故や災害時において、「豊平川からの取水」や「西部配水池への送水」ができなくなった場合でも、一定量の水道水を継続的に確保することができます。



企業団では北海道と4つの市や町が協力して水をつくるんだよ。その水は水道管を通してそれぞれの市や町に配られるんだ。



当別ダム
洪水調節、流水維持、かんがい用水、水道用水の確保を目的とする多目的のダムで、平成24(2012)年に完成しました。



当別浄水場
浄水処理方式は、凝集沈でん+粒状活性炭+急速ろ過を採用し、平成24(2012)年に完成しました。

事故、災害時に豊平川から取水できなくなった場合でも、炊事、洗面などに必要な生活用水を1人1日20L確保できるよ。(最大44,000m³/日)

